

横浜市救急医療センター患者誤認防止マニュアル

横浜市救急医療センターは、市民が安心して医療を受けられる環境を整え、良質な初期救急医療を提供することを通じて、社会に貢献することを目的としている。

この目的を達成するため、センター長のもと、すべての職員が医療安全に対する意識を高め、事故を未然に回避する個人の能力と組織のシステムを確立することが必要である。患者様の取り違えを防ぐため、ここに横浜市救急医療センター患者誤認防止マニュアルを定める。

1 患者様への確認方法

- ① フルネームで確認する
- ② 会話可能な患者様には自ら名前を名乗ってもらう。

2 他部署へ引き継ぐ時の確認方法

- ① 同時に二人以上の患者様を出さない。
- ② 患者様搬送時には、一人の患者様を一人の看護師が最初から最後まで責任をもって対応する。
- ③ 受け入れる側と送る側の両方で声を出して、患者様の名前をフルネームで確認する。
- ④ 患者様氏名の確認を行った後、記録された情報を正しく引き継ぎ、受入れ側は復唱し確認を行う。
- ⑤ 会話可能な患者様には自ら名前を名乗ってもらう。
- ⑥ 電話を受ける時、伝言メモを使用し、氏名・時間・指示（用件）を必ず復唱し確認する。

3 その他

- ① 同姓同名カルテの確認方法
同姓同名患者が同じ診療科を受診している事が分かった場合は、コメント欄に「同姓同名あり」と入力する

本人確認にぜひ協力ください

患者様の取り違えを防ぐため診察前に

ご本人（付添い）からお名前（フルネーム）
を名乗っていただきます

ご面倒でもぜひ協力ください



お名前をおねがいします